

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道34号 <small>かんざき さ が</small> 神埼佐賀拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：佐賀県 <small>かんざきし かんざきまちもと おりむ た</small> 神埼市神埼町本告牟田 至：佐賀県 <small>さ が し ひょうご まち おおあざふち</small> 佐賀市兵庫町大字洲	延長	5.2km		
事業概要					
神埼佐賀拡幅は、国道34号の交通混雑の緩和や交通安全性の向上等を目的とした事業である。					
H4年度事業化	H3年度都市計画決定 (H一年度変更)	H7年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	約153億円	事業進捗率	76%	供用済延長	2.9km
計画交通量	23,100～35,300台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 4.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 37/180億円 事業費：31/163億円 維持管理費：5.4/16億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 146/295億円 走行時間短縮便益：134/269億円 走行経費減少便益：8.6/14億円 交通事故減少便益：4.0/12億円	基準年 平成25年	
感度分析の結果					
【事業全体】交通量：B/C=1.5～1.8（交通量 ±10%）【残事業】交通量：B/C=3.5～4.5（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.6～1.7（事業費 ±10%）事業費：B/C=3.7～4.4（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.5～1.8（事業期間 ±20%）事業期間：B/C=3.3～4.5（事業期間 ±20%）					
事業の効果等					
①交通混雑の緩和 ・国道34号の交通混雑緩和及び旅行速度の向上					
②交通安全性の向上 ・国道34号の4車線整備による交通混雑の緩和により、交通安全性が向上					
③医療施設までのアクセス改善 ・第三次救急医療施設（佐賀大学医学部附属病院）への救急搬送時間短縮による救命率の向上					
④生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO ₂ , NO ₂ , SPM削減）					
関係する地方公共団体等の意見					
佐賀市をはじめとして構成される国道34号（神埼佐賀拡幅・江北バイパス）整備促進期成会（会長：佐賀市長）により早期整備の要望を受けている。（平成28年8月）					
県の意見： 整備を強く望んでいるところであり、継続することについては、異議ありません。 小さな都市が分散している当県において、地域や産業の活性化のため、有明海沿岸道路、佐賀唐津道路などの広域幹線道路と、これを補完する国道3号、国道34号などで形成される幹線道路ネットワークの整備に取り組んでいます。 国道34号神埼佐賀拡幅は、当区間に点在する3箇所の主要渋滞箇所の解消、交通混雑の緩和などに寄与し、時間短縮や定時性の確保がなされ、更なる人・モノの交流が促進されると期待していることから、引き続き整備を進めていただきたい。 引き続き残区間の早期整備に努めていただきたい。					
事業評価監視委員会の意見					
審議の結果、事業継続。					

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線地域の人口は減少傾向。沿線地域の一帯あたりの自動車保有台数は九州全体より高い。国道34号の交通量は約2.8万台/日で推移。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成4年度に事業化、用地進捗率42%、事業進捗率76%（平成28年3月末時点）

平成17年度：上犬童交差点～堀立西交差点間 延長0.8km（4/4）開通

平成22年度：堀立西交差点～下淵交差点間 延長2.1km（4/4）開通

平成27年度：姉川地区 延長0.5km（2/4）橋架替完了

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や施工等に変更はないが、新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

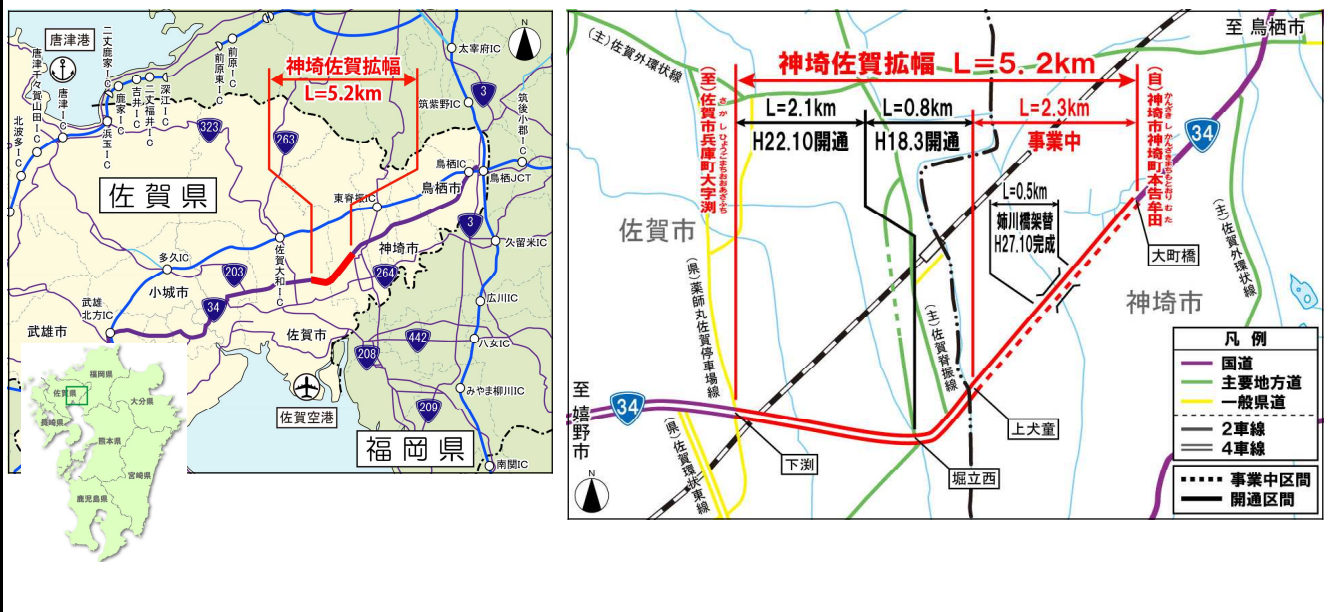
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。